

## 検査精度に影響を与える要因に関する基礎的及び臨床的研究

### 1. 研究の対象

国立がん研究センター中央病院で、検体検査・生理検査・細胞診検査をされた患者さんならびに検診を受診された方の中で包括的同意が得られている方。

### 2. 研究目的・方法

この研究は、検体検査（血液検査や尿検査など）や生理検査（心電図検査、超音波検査など）の検査施行過程の各ステップを検証することにより検査結果に影響を及ぼす原因を探り、当院における検査精度の向上を目指します。

診療・検診に用いた後の血液検体の残りや病理検体を用いて、検査試薬の精度を検証するほか、診療録ならびに検診記録などの診療情報を用いて他の検査項目との関係を検討します。

研究実施期間は10年間です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：検体検査結果、画像・波形データおよび所見、病理検査結果、病歴 等

試料：血液、尿、穿刺液、脳脊髄液、胸水、腹水、手術で摘出した組織、検出した菌等

### 4. 試料・情報の公表

得られた研究結果は、学会や学術論文を通じて発表するほか、学術的データベースへ登録します。

### 5. 本研究において取得した試料及び情報の将来的な二次利用

本研究で用いた試料・情報を国内外の機関で実施する将来の医学的研究のために、研究終了後も大切に保管させていただきます。新たな研究に用いる際には、国内外の規制に則り、あらためて研究計画書を作成して研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手続を踏んだ上で行います。

なお、新たな研究の概要・研究機関については、新たな研究に関わる機関（試料・情報の授受を行う機関すべて）公式ホームページ等にて情報公開いたします。

・国立がん研究センターが参加する研究の公開情報については国立がん研究センターの公式ホームページより確認することができます。

<https://www.ncc.go.jp/jp/>

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方、  
検診を受診された方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の  
連絡先までお申出ください。その場合でも患者さん、検診を受診された方に不利益が生じる  
ことはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院

臨床検査科

松井啓隆（研究責任者）

TEL 03-3547-5201